



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2021年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 T P R株式会社
 コード番号 6463 URL https://www.tpr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 矢野 和美
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小島 亮治 TEL 03-5293-2811
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	80,903	28.1	6,442	—	8,418	248.5	4,170	353.1
2021年3月期第2四半期	63,163	△29.4	375	△94.4	2,415	△67.5	920	△81.6

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 11,718百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 △866百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	120.93	—
2021年3月期第2四半期	25.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	248,165	152,807	49.9	3,587.86
2021年3月期	244,059	143,139	47.6	3,370.96

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 123,743百万円 2021年3月期 116,232百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	21.00	—	23.00	44.00
2022年3月期	—	29.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,900	4.5	11,700	18.2	14,300	1.1	6,700	22.6	194.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	36,100,099株	2021年3月期	36,100,099株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,610,434株	2021年3月期	1,619,714株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	34,486,691株	2021年3月期2Q	35,496,930株

(注) 期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2022年3月期2Q 255,200株、2021年3月期 83,300株)を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2022年3月期2Q 115,544株、2021年3月期2Q 83,388株)を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間を取り巻く経営環境については、国内は、第2四半期（7-9月）のGDPが海外経済の回復に伴う輸出の増加でプラス数値は維持するものの、デルタ株による新型コロナウイルス（以下、コロナ）感染再拡大の懸念ならびに半導体不足の世界経済に与える影響などから、夏場以降、先行きの不透明感が強まりました。

海外は、追加経済支援策や行動規制の緩和等を受け、欧米アジア各地域で4-6月GDPがプラスに転じましたが、コロナ感染再拡大によるロックダウンや半導体・原材料不足が足枷となり、夏場にかけて回復基調が頭打ちになる展開となりました。

当社グループが主として関連する自動車業界におきましても、国内外において、夏前までは回復基調にあった自動車生産ならびに販売台数が、世界的な半導体不足とコロナ感染再拡大によるサプライチェーンの制約によりグローバルベースで前年同期比減少基調に転じる、という展開となりました。

こうした経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間は、自動車販売台数の回復基調と、原価低減活動や合理化の推進といった経営努力の継続遂行が奏功し、売上高、各利益ともに前年同期比で大きく改善し、大幅な増収増益となりました。ただし、前述の半導体不足とサプライチェーンの混乱は、当連結会計年度後半も続くものと考えております。

当第2四半期連結累計期間の業績数値につきましては、次のとおりであります。

売上高	809億3百万円	（前年同期比 28.1%増）
営業利益	64億42百万円	（前年同期は3億75百万円の営業利益）
経常利益	84億18百万円	（前年同期比 248.5%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	41億70百万円	（前年同期比 353.1%増）

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億53百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1億74百万円減少しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントの業績概況は、次のとおりであります。

< T P R グループ（除くファルテックグループ） >

①日本

日本は、売上高は224億96百万円で、前年同期に比べて49億57百万円の増収となりました。セグメント利益は11億93百万円で、前年同期に比べて24億47百万円の増益となりました。

②アジア

アジア地域は、売上高は185億87百万円で、夏場に向けてはコロナ等の影響で頭打ちとなったものの、中国およびその他地域で生産台数が回復、前年同期に比べて59億45百万円の増収となりました。セグメント利益は40億63百万円で、前年同期に比べて15億4百万円の増益となりました。

③北米

北米地域は、売上高は56億3百万円で、前年同期に比べて14億6百万円の増収となりました。セグメント利益は3億円で、前年同期に比べて4億86百万円の増益となりました。

④その他地域

その他地域は、売上高は10億6百万円で、前年同期に比べて2億76百万円の増収となりました。セグメント利益は1億91百万円で、前年同期に比べて82百万円の増益となりました。

< ファルテックグループ >

売上高は332億9百万円で、半導体供給不足の影響等あったものの、コロナ感染症に伴う影響からは回復、前年同期に比べて51億53百万円の増収となりました。セグメント利益は売上高増に伴う利益増及びものづくり原価低減活動を推進したこと等により6億15百万円の利益を計上、前年同期に比べて19億6百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して41億5百万円増加し、2,481億65百万円となりました。これは主に有形固定資産が25億9百万円、商品及び製品が18億81百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末と比較して55億62百万円減少し、953億58百万円となりました。これは主に長期借入金が16億29百万円、電子記録債務が4億99百万円、未払法人税等が3億57百万円それぞれ増加した一方、短期借入金が79億66百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して96億68百万円増加し、1,528億7百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が40億34百万円、利益剰余金が34億53百万円、非支配株主持分が21億56百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前第2四半期連結累計期間末と比較して66億60百万円減少し、421億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、130億88百万円（前年同期比121.3%増）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益81億13百万円、売上債権の減少額52億83百万円、減価償却費52億5百万円、主な資金の減少は、棚卸資産の増加額24億78百万円、法人税等の支払額17億1百万円、持分法による投資利益11億93百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、54億62百万円（前年同期比8.9%増）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出53億56百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、86億25百万円（前年同四半期で得られた資金は17億48百万円）となりました。主な収入は長期借入金の純増加額22億19百万円、主な支出は、短期借入金の純減少額85億77百万円、非支配株主への配当金の支払額11億7百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月14日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,370	42,524
受取手形及び売掛金	47,266	43,342
商品及び製品	10,577	12,458
仕掛品	4,386	4,828
原材料及び貯蔵品	7,729	8,396
その他	5,103	5,186
貸倒引当金	△89	△91
流動資産合計	117,344	116,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,429	23,464
機械装置及び運搬具（純額）	27,685	27,151
その他（純額）	19,279	22,288
有形固定資産合計	70,394	72,903
無形固定資産		
のれん	311	222
その他	1,862	1,930
無形固定資産合計	2,174	2,152
投資その他の資産		
投資有価証券	29,888	29,973
退職給付に係る資産	7,675	7,553
その他	16,728	19,101
貸倒引当金	△145	△165
投資その他の資産合計	54,147	56,463
固定資産合計	126,715	131,519
資産合計	244,059	248,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,477	16,063
電子記録債務	7,367	7,867
短期借入金	28,938	20,972
未払法人税等	1,294	1,651
賞与引当金	2,347	2,056
その他	12,180	12,842
流動負債合計	68,605	61,452
固定負債		
長期借入金	13,807	15,436
退職給付に係る負債	5,481	5,275
引当金	1,087	1,028
資産除去債務	176	176
その他	11,763	11,988
固定負債合計	32,314	33,905
負債合計	100,920	95,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,758	4,758
資本剰余金	4,209	4,216
利益剰余金	97,089	100,542
自己株式	△2,735	△2,695
株主資本合計	103,322	106,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,939	13,955
為替換算調整勘定	△2,508	1,525
退職給付に係る調整累計額	1,478	1,440
その他の包括利益累計額合計	12,909	16,921
新株予約権	147	147
非支配株主持分	26,759	28,915
純資産合計	143,139	152,807
負債純資産合計	244,059	248,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	63,163	80,903
売上原価	51,471	61,655
売上総利益	11,691	19,247
販売費及び一般管理費	11,316	12,805
営業利益	375	6,442
営業外収益		
受取利息	206	114
受取配当金	279	324
持分法による投資利益	563	1,193
助成金収入	825	197
その他	427	347
営業外収益合計	2,303	2,176
営業外費用		
支払利息	153	116
為替差損	40	2
その他	68	82
営業外費用合計	262	201
経常利益	2,415	8,418
特別利益		
固定資産売却益	3	22
特別利益合計	3	22
特別損失		
固定資産除却損	74	67
投資有価証券評価損	—	200
工場休止損失	114	—
その他	20	60
特別損失合計	208	327
税金等調整前四半期純利益	2,210	8,113
法人税等	601	2,204
四半期純利益	1,609	5,908
非支配株主に帰属する四半期純利益	688	1,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	920	4,170

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,609	5,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	390	15
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△2,509	4,729
退職給付に係る調整額	132	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	△490	1,111
その他の包括利益合計	△2,475	5,809
四半期包括利益	△866	11,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△780	8,182
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	3,536

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,210	8,113
減価償却費	5,257	5,205
のれん償却額	88	88
持分法による投資損益 (△は益)	△563	△1,193
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△348	88
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△173	△513
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△331	△295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	47	18
その他の引当金の増減額 (△は減少)	71	△50
受取利息及び受取配当金	△486	△438
支払利息	153	116
為替差損益 (△は益)	△50	63
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△22
固定資産除却損	74	67
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	200
助成金収入	△825	△197
売上債権の増減額 (△は増加)	7,202	5,283
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,647	△2,478
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,465	△654
その他	△1,461	278
小計	3,750	13,678
利息及び配当金の受取額	945	1,072
利息の支払額	△142	△137
助成金の受取額	715	176
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	645	△1,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,915	13,088
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△137	△46
定期預金の払戻による収入	116	145
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,951	△5,356
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	27
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
貸付けによる支出	△108	△147
貸付金の回収による収入	91	131
その他	△28	△208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,016	△5,462

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	747	△8,577
長期借入れによる収入	7,940	5,900
長期借入金の返済による支出	△3,733	△3,680
リース債務の返済による支出	△551	△629
セール・アンド・リースバックによる収入	606	278
自己株式の売却による収入	—	281
自己株式の取得による支出	—	△281
配当金の支払額	△1,067	△795
非支配株主への配当金の支払額	△2,193	△1,107
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,748	△8,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△595	1,214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,052	215
現金及び現金同等物の期首残高	46,741	41,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	48,793	42,132

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

有償受給取引について、従来は受給元への販売額に原材料等の受給額を含めた金額で収益を認識しておりましたが、受給品を売り戻す義務を負っている場合、原材料等の受給額を除いた金額で収益を認識する方法に変更しております。また、代理人取引について、従来は総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割が代理人に該当する取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,353百万円、売上原価は1,162百万円、販売費及び一般管理費は15百万円それぞれ減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ174百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は77百万円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,539	12,641	4,196	729	35,106	28,056	63,163
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,789	1,697	37	28	4,554	1	4,556
計	20,328	14,339	4,234	758	39,661	28,057	67,719
セグメント利益又は損失 (△)	△1,254	2,559	△186	108	1,227	△1,291	△63

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△63
セグメント間取引消去	60
未実現利益の調整額	379
四半期連結損益計算書の営業利益	375

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	T P R グループ (除くファルテックグループ)					ファルテック グループ	
	日本	アジア	北米	その他地域 (注)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,496	18,587	5,603	1,006	47,693	33,209	80,903
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,180	1,940	9	30	6,160	3	6,163
計	26,676	20,527	5,612	1,036	53,853	33,213	87,066
セグメント利益	1,193	4,063	300	191	5,748	615	6,364

(注) 「その他地域」の区分は、欧州及び南米の現地法人の事業活動であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」の売上高は599百万円減少、セグメント利益は174百万円減少し、「ファルテックグループ」の売上高は753百万円減少、セグメント利益の影響はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,364
セグメント間取引消去	64
未実現利益の調整額	13
四半期連結損益計算書の営業利益	6,442

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 連結業績：累計

(単位：億円)

	2020年2Q	2021年2Q	増減額	増減率
売上高	631	809	177	28%
営業利益	3	64	61	1618%
経常利益	24	84	60	248%
親会社純利益	9	41	32	353%

為替レート (USD円)	108.44	107.76
為替レート (人民元円)	15.37	16.64

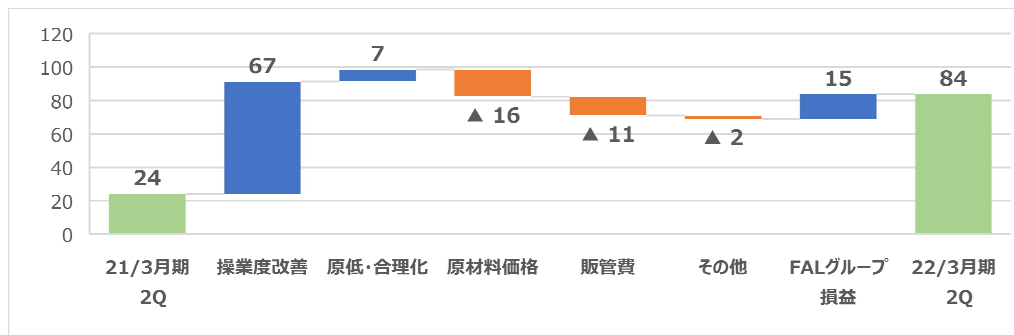
2. セグメント状況

(単位：百万円)

	2020年2Q	2021年2Q	増減額	増減率
日本	17,539	22,496	4,957	28%
アジア	12,641	18,587	5,945	47%
北米	4,196	5,603	1,406	34%
その他	729	1,006	276	38%
TPRグループ計	35,106	47,693	12,586	36%
ファルテックグループ	28,056	33,209	5,153	18%
連結	63,163	80,903	17,740	28%

日本	△ 1,254	1,193	2,447	-
アジア	2,559	4,063	1,504	59%
北米	△ 186	300	486	-
その他	108	191	83	77%
TPRグループ計	1,227	5,748	4,521	368%
ファルテックグループ	△ 1,291	615	1,906	-
消去等	439	77	△ 362	-
連結	375	6,442	6,067	1618%

3. 経常利益増減要因 (2020年2Q → 2021年2Q期：億円)

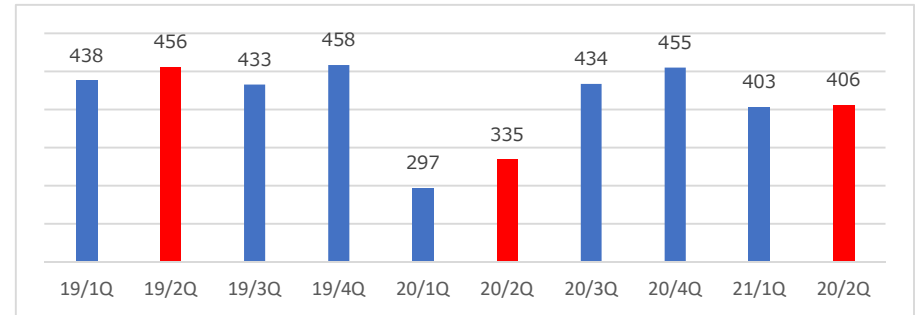


4. 連結業績：四半期実績推移

<売上高>

(単位：億円)

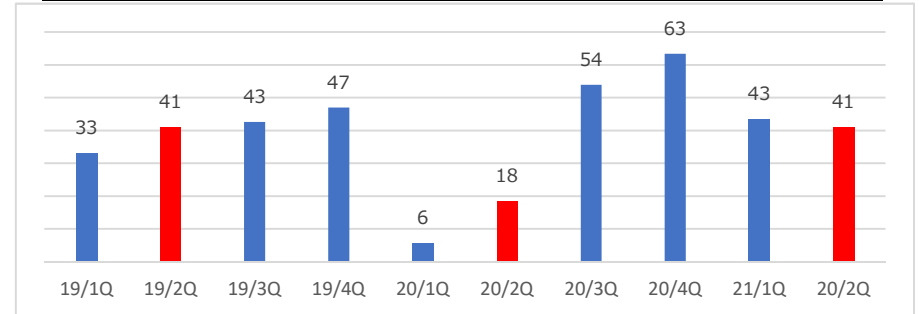
2019				2020				2021	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
438	456	433	458	297	335	434	455	403	406



<経常利益>

(単位：億円)

2019				2020				2021	
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
33	41	43	47	6	18	54	63	43	41



5. 2022年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2022年3月期 通期予想	2021年3月期 実績	前年比
売上高	1,589	1,520	105%
営業利益	117	99	118%
経常利益	143	141	101%
親会社純利益	67	55	122%

	2022年度3月期	2021年3月期
1株当たり配当金	年間58円	年間44円
(中間配当)	(29円)	(21円)